

『児童発達支援ガイドライン』に沿った本人中心

の個別支援計画を作成・実施するために

— ポーテージプログラムの活用と効果の評価 —

■東洋大学人間科学総合研究所では特別研究として、平成 27 年度より 3 年間にわたって「発達臨床における相談員の研修と相談支援活動」に関する研究を行いました。その間、平成 29 年 6 月には『児童発達支援ガイドライン』（座長 大塚晃）が公示され、このガイドラインにもとづき地域を拠点とする児童発達支援が実践できる相談員の養成と関連機関の増加を目指して、地域における研修会を実施してきました。（全国 7カ所：東京、大阪、富山、福岡、佐賀、名古屋、盛岡）

■平成 30 年度はさらに継続して、拠点となる地域で「アウトリーチによる相談員の養成と相談活動の支援」の研究に関して、全国 2カ所（愛媛、山口）で研修会を実施します。

日時：平成 30 年 11 月 17 日（土）

9:30～16:30

会場：エスポワール愛媛文教会館

愛媛県松山市祝谷町1丁目5-33【HP参照】
（「道後温泉駅」下車徒歩 10 分）

参加費：無料

定員：50 名（定員になり次第締め切ります）

参加申し込み：認定 NPO 法人日本ポーテージ協会
（件名を「愛媛研修参加」とし、氏名、連絡先、勤務先を明記して、日本ポーテージ協会に、下記のFaxまたはメールにてお申し込みください）

〈講師・演題〉



〇午 前（9：30～12：30）

■大塚 晃（上智大学総合人間科学部教授・日本ポーテージ協会理事）

「『児童発達支援ガイドライン』の理解と本人中心の個別支援計画」

■吉川真知子（日本ポーテージ協会常務理事）
「ポーテージプログラムの基礎—プログラムの構成と相談支援の進め方」

〇午 後（13：30～16：30）

■清水直治（東洋大学人間科学総合研究所客員研究員・日本ポーテージ協会会長）
「ポーテージプログラムの応用—相談支援における応用行動分析の原理と適用」

■橋本伸子（富山市恵光学園園長・日本ポーテージ協会理事）
「児童発達支援センターにおけるポーテージプログラムの活用」

〈主催〉東洋大学人間科学総合研究所 〒112-8606 文京区白山 5-28-20

〈共催〉認定 NPO 法人日本ポーテージ協会

〒166-0012 東京都杉並区和田 3 丁目 5-45 第 10 田中ビル 3 階 3 号室

TEL 03-3313-4822 FAX 03-3313-2575 Email email@japan-portage.org

当日の緊急連絡先：080-3348-1820（当日の連絡は必ずこちらにお願いします）

〈協力〉社会福祉法人宗友福祉会 天使園（愛媛・松山市）